

公共交通対策特別委員会

日時 平成30年12月7日（金） 午後 時 分～
場所 第3委員会室

1 開議

2 案件

(1) 委員長報告について

3 その他

公共交通対策特別委員会委員長報告

H 3 0 . 1 2 . 1 4

公共交通対策特別委員会が、今期４年間にわたり取り組んでまいりました調査経過を報告します。

本委員会は、前期に引き続き、平成２７年３月定例会において、市民の移動権を確保する公共交通対策の推進を図ることを目的に設置されました。

本市の公共交通は、市街地と農村部 ~~集落地~~をあわせもつ亀岡市域の住環境により、従来から市民の日常生活と密接に結びつき、人口減少や少子・高齢化が進展する中において、快適な暮らしや地域の活性化を支える重要な社会基盤となってきました。

本特別委員会においては、これを踏まえ、市が事業主体となる「ふるさとバス」「コミュニティバス」の運行状況・利用状況を中心に、市内を運行する民間バス・ＪＲ・タクシー事業者の状況、また、自動車利用が増加している市域の交通事情等も考慮し、利用者が求めるニーズに合った効率的・効果的な公共交通のあり方を主眼に調査を行ってきました。

その活動としては、主に、各年度において執行部からの事業実績・事業計画の説明に基づき、詳細に調査を実施してきました。

市としてはこの間、平成26年に策定された「亀岡市地域公共交通計画」に基づき、各種公共交通施策を進められており、その主なものは、

- ・ふるさとバスの南部・西部・中部地域からのガレリアかめおかへの乗換の円滑化
- ・バスの運賃見直し
- ・篠町及び西つつじヶ丘におけるコミュニティバス運行
- ・南部地域の交通空白地解消に向けた 東別院町地域交通支援事業等でありました。

これらの施策を実施されてきたことも踏まえ、本特別委員会の活動において質疑・検討の中心となった主な内容は、

ふるさとバス、コミュニティバス等に関して

- ・将来的な観点も含め、適正な収支は担保されているのか
- ・既存路線は効率的であるのか
- ・変化する市民ニーズを的確に把握し、柔軟な運行に努めているのか

か

- ・点在する市内の公共交通空白地域対策の進捗はどうか

等 でありました。

また、東別院町地域交通支援事業に関しては、

- ・利用者負担の公平性は適正なものであるのか
- ・当該地域の公共交通環境は考慮されているのか
- ・市内他地域での運行の可能性はどうか

等 をはじめ、さまざまな議論があったところです。

そして、本特別委員会では、これらの調査・検討経過や市の取り組みを鑑み、亀岡市の地域事情に応じた公共交通を推進し、市民一人ひとりが健康で安心して暮らせるまちづくりを実現するために、これまでの活動を総括し提言を取りまとめました。

- 1 ふるさとバス、コミュニティバス利用者の増加を促し、さらなる適正な運営に努め、市の財政負担を軽減すること
- 2 高齢者をはじめとした、市民の交通環境に対する不安を解消し、安全で安心して暮らせる定住環境を整備すること
- 3 市域を快適、柔軟に移動できる公共交通手段を考慮し、さらなるにぎわいを創出すること
- 4 今後加速する少子高齢化を見据え、まちづくりと整合した公共交通ネットワークへ見直し、再構築すること

これらの提言については、本特別委員会の意見として、次年度からスタートする地域公共交通網の施策 ~~地域公共交通網形成計画~~に反映されるよう、配慮されたいと考えるものであります。

最後に、公共交通は市民の生活を守り、地域の活力を維持していくための重要な機能の1つであり、より使いやすい ~~きめ細かな~~交通ネットワーク網の構築に対するニーズは、今後、ますます増大してくものと考えられます。

市におかれては、引き続き長期的視野に立ちながら、市民にとって安全で暮らしやすい地域づくりの^{いしずえ}礎となる公共交通に関して、さらに一歩先を踏まえた施策を推進し、市民に寄り添った具体的な公共交通施策を着実に実施されることを求め、

以上、簡単ではありますが、本特別委員会の4年間の報告とします。

わがまちトーク(宮前町)で頂いた意見・要望等と回答について

公共交通対策特別委員会

	意見・要望などの概要	当日回答内容	所管	対応		
				参考	報告	調査
1	地理的事情から高齢者も車を手放せない。地域コミュニティタクシーなども含めて、地域公共交通の充実が必要ではないか。	公共交通対策特別委員会でも充実に向けて議論している。南部・中部・西部地域からのバスはガレリアかめおかまで延伸している。また、千代川町から大井町のマツモトまで延ばせないか検討している。デマンドバスは東別院町で運行が始まっているが、既存のふるさとバスとの兼ね合いもある。	公共交通対策			

わがまちトーク(本梅町)で頂いた意見・要望等と回答について

公共交通対策特別委員会

	意見・要望などの概要	当日回答内容	所管	対応		
				参考	報告	調査
1	高齢者がより参加しやすい、区単位での集まりやサークルを作ることが災害対策等にもつながる。より参加しやすい環境づくりとして、フリー乗降区間を設けたバスの運用があったと思うが、そのように高齢者が動きやすくなる仕組みづくりを発信していきたいと思うので、市としても前向きに検討してほしい。	公共交通で補えない部分については、福祉交通、タクシー等さまざまな対応策があると思われるが、まずは空白地域の解消が先決であり、このことについては交通の話題として挙がってくると考えている。	公共交通対策			
2	フリー乗降区間は現在においても残っているのか。	現在は、フリー乗降区間は運用されていない。	公共交通対策			

わがまちトーク(千歳町)で頂いた意見・要望等と回答について

公共交通対策特別委員会

	意見・要望などの概要	当日回答内容	所管	対応		
				参考	報告	調査
1	敬老乗車券の購入数に制限があるが、必要な人には販売枚数を拡大してほしい。また、ガレリアかめおかまで往復すると、乗換えが必要のため、4枚使用しなければならない。千歳町からガレリアかめおかまで直通の運行を考えてほしい。	購入数についての意見は執行部に伝えていきたい。来年、新しい公共交通の計画が策定される予定であるが、意見を参考に、公共交通対策特別委員会でも議論していきたい。	環境厚生			
			公共交通対策			